

ガネ)に大きく分けられる。東京での仕入は第一に進駐軍の払い下げである。戦争が終わってから多くのアメリカの軍人が駐屯した。払い下げは月一回の入札があった。いわゆる不用になったもの、鉄鋼製品を民間に払い下げるのである。東京の業者がほとんど落札し、東京市場で消費されるそれをなんとか駅出しし、三条にもってくるのである。これは実に三条の鍛冶屋には喜ばれたのである。そしてもうかった。

北三条駅には鍛冶屋に向けてキャッシュが動いた。当時無尽がはやった。月1割の高利の金も使いながら百円札の束の現金を持って夜行に飛び乗り、月2回支払、3回支払と在庫になる鉄はまったくなく5年位で当時のお金でどの位か土地も買い地盤ができた。電柱の引っ張り線、地下海底のケーブル線、焼きょう、古鉄筋、鉄柱の解体品、鉄道の古レール、解体船(切板)、ノコギリ用の古物(おさのこ)と称した。尺貫法、何もんという値のつけ方であった。仕入は時によって自転車で東京中をコーモリ傘とハンドグラインダー1台を自転車に積んで一日中欲と得にまみれて走りまわった。戦前の普通鋼、ねむっている特殊鋼はいくらでもあった。

この時機を過ぎいよいよメーカーの発生産品の時代となる。私は安宅産業と組み、仕入れ業務を計り、新日鉄の前身八幡製鉄所と取引を始めた、川鉄との取引もこの時である。昭和30年代、昭和40年代は努力すればする程儲かった時代である。三条は先人の努力により利器工匠具の一大消費地となるのである。

人生を力一杯生きぬく精神を胸に秘めながらメーカー商社→特約店の統制経済的発想の販売の利点によくした商社は三井、三菱、岩井、安宅で四商社しかなかった。自由主義今の競争原理はあまり働かない、いわゆる先物申込み制度である。今も鉄の仕入れの販売は申込みし、先を読み販売する。後仕切制度という制度が反乱し、実体価格がわからないホームセンターやスーパーさんの価格をはっきり解る取引で鉄の商売はタテ系列で商売をやっているのが多い。

会 員 の 声: 羽賀一夫会員

2月17日に初孫(女)が生まれた。娘の子である。

孫の可愛さは格別なのは言うまでも無い。それは自分の子供達の時より長時間見ていることが出来るからだろうか。可愛い娘の子供だからだろうか。一つ一つの部品が、仕草が気になって仕方ない。

産毛が濃すぎないか、頭がいびつすぎないか、泣きすぎでないか、泣かなすぎでないか、自分自身さがさわがしい。

それにしてもよくもこんな精密なものが生まれるものだ。生命の神秘であり不思議でも有る。

不思議な本を思い出した「子宮の中のエイリアン」という本だ。

受精卵は生まれるまでSF映画に登場するエイリアンの寄生生物のような行動をとるという本である。受精卵は子宮壁に付着し、そして酵素を分泌し付着した部分の子宮壁を浸食していく、奥の組織が破壊されると、受精卵はそこに入り込んで子宮内壁に埋まってしまう。邪魔になる母体の結合組織はすべて破壊し、吸収しながら大きくなっていく。周囲の細かい血管に穴をあけ、血中の養分をとりこみながら受精卵は育つ。

そして大きくなって母体に苦痛を与えて出てくるわけだ。

エイリアンめ元気に育てよ。

3月21日例会: 夫人同伴夜例会 18:30~ 於ステーキのさるーん

3月28日例会: 卓話「日本庭園と保内の植木」 齋藤六左衛門 齋藤興一様

4月4日例会: ロータリー雑誌月間



三条北ロータリークラブ週報

ロータリー2000: 活動は一堅実、 信望、持続

例 会 日
2000. 3 . 14
累 計 No 646
当 年 No 33

国際ロータリー会長 カルロ・ラビツァ 第2560地区ガバナー 高木貞一郎

会 長/佐 藤 義 英

幹 事/長 谷 川 恵 慈

SAA/山 中 正

例会日/火曜日 12:30~13:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局/三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行 事: 卓話「鐵とともに」中條耕二会員

出 席: 本日の出席 52名中 38名

先々週の出席率 52名中 46名 88.46%(前年同期82.35%)

【2月の出席状況: 会員数52名 例会数5回 平均出席率87.31%(前年同月85.29%)】

先週のメークアップ: 3月8日 三条RCへ 淵岡 茂さん、山上茂夫さん、中條耕二さん

石川勝行さん、米山忠俊さん、芦田義重さん

11日 次年度地区社会奉仕委員会出席(柏崎) 高橋彰雄さん

11日 米山セミナー(新潟)出席 早川龍雄さん

ビ ジ タ ー: 三条RCより 渡辺勝利さん

会 長 挨 拶: 佐藤義英



運転が示すお人柄

青葉の中を好き合った二人でドライブするのは嬉しいものだ。しかし、運転の仕方その人の人間が分かる。

一、急ブレーキをかけたがる。タイヤの音を立てて急発進したがる。こういう男は自惚れが強く虚荣心が強い。女だったらがさつで自己中心的な女である。

本日はお客様に三条RCより渡辺勝利さんようこそいらっしゃいました。いくじもなく雪が降りまして、16日に予定しておりました我クラブ今年最初のゴルフコンペも中止になった様です。だんだんとイライラがつのります!!

今日はいいただいた本の中から「運転が示すお人柄」に付いて紹介したいと思います。これは新発田市で内科医を開業されている馬場賢一さんのエッセイをまとめた「海と陽だまり」という本の中の一部です。

二、狭い道で対味車と出合った。交互通行できそうな広さを探そうともしない。バックして道を譲ろうともしない。こういう男は強情で偏屈、かつ柔軟性がない。女のドライバーだったら甘えん坊で思いやりのない性格。

三、老人、子供がぐずぐずしているとすぐ怒鳴る。こういう男はせっかちで上には弱いが下には強く威張るタイプ。女だったら人の悪口が大好きな性格。

四、もう三〇センチメートル幅寄せすれば、もう一台通れるのに、中途半端に駐停車する。こういう男は自己中心的で思いやりがない。女だったらやはり自分勝手に計画性もうるおいもない性格。

五、車の中も人形やアクセサリで飾り立てる。男女ともに親離れが出来ていない。しかし大人ぶりがたがる。そして浮気性。

六、無理な追い越し、割り込みを平気でする。男女ともに自己中心的、非協調性、ガサツ。

七、意思不明の運転で後続車を困らせる。男女とも自己中心的、優柔不断、根気なし。浮気性の性格。

こんな相手だったら考え直そう。一生の判侶としては危ない。ドライブの楽しみは束の間、不幸は一生である。

人間は人によって生き、生かされ、大きくも小さくもなる。

愛というものは、まず相手を思いやり、いたわり合うところからお互いが成長し、お互いの努力から培われていくものだろう。どんなに世の中が変わろうと、この心だけは変えてはならないものだと思う。

幹事報告： 長谷川幹事

・田上あじさいＲＣより 事務所移転のお知らせ 田上町大字原ヶ崎新田162－3 田上町商工会館内
電話は従来通り、FAX57－5100となります（3／21より）

・三条市教育委員会より 卒業、進級を祝う会出席の御礼

・高木ガバナー、宮川ガバナーエレクトより

2001－2002年度R I 第2560地区ガバナーノミニー候補選出の件

地区ガバナー指名委員会で野澤謹吾氏（新潟東RC）が指名推薦されました

委員会報告：

・米山奨学 3／11米山セミナー参加報告

・親睦活動 3／21夫人同伴夜例会詳細案内

ニコニコボックス：	14日現在累計 884,470円
-----------	------------------

佐藤義英君 中条大先輩の久々の名調子の卓話楽しみに!!

中條耕二君 ヘタな卓話ですがよろしくお願いします。

山崎勲君

芦田義重君 中条さんの卓話ごくろうさまです、楽しく聞かせてもらいます。

石川勝行君 早退させて頂きます、中条さんの卓話申し訳ありません。

馬場直次郎君 中条さんの卓話楽しみにしています。

梨本清一君 中條のお話に声援を送ります。

佐藤啓策君 中条さんの卓話楽しく拝聴させて頂きます。

大野新吉君 同じ3月30日生まれの中条大先輩、卓話楽しみにしております。

米山奨学会：

本間建雄美君 早川さん米山奨学会、御苦労様です。中条さんの卓話楽しみにしています。

山中正君 中条先輩の卓話ご苦労様です。

本宮隆君 中条さんの卓話楽しみにしております。

長谷川恵慈君 末娘が高校に合格しました。中条さん卓話よろしくお願いします。

早川龍雄君 初代会長中條先輩の卓話楽しみにしております。

卓話： 「鉄とともに」 中條耕二会員



鉄と共ににやがて50年近くになる。いろいろな出来事にあった。ほとんど鉄にかかわった話を今日は中心に語ってみたい、青春時代と身体で覚えた販売などとりとめのないお話になるかもしれないが、、、、

北ロータリークラブでの卓話は始めてではないかとも思っている。私は比較的早く父親と別れた、明治時代から祖父も父も鉄を商いもなく百年になろうとしている。長男が継いでくれる約束をしたのでまもなく4代目の登場である。高校1年昭和26年8月の夏休みに父が亡くなり、当時三条の鍛冶屋相手に商売したのが鉄の商いのスタートである。まもなく50年の歳月が流れる。日本の鉄鋼は今や世界では品質、量ともトップクラスである。全生産7億トンのうち1億トンの生産である。しかし戦後は500万トンからのスタートであった。軍事産業から平和産業に移り替わり、毎年政府の手厚い保護でつくり上げた基幹産業である。私の正式な鉄の商売のスタートは丁稚奉公からのスタートである。朝5時に毎日起き、夜は10時～12時就寝の毎日であった。私は小学校、中学校、高校ほとんど皆勤である。ロータリークラブも36年間皆勤である。バカのひとつおぼえの格言どおり、不真面目の所もあるが自称まじめ人間であり、自動車の免許も無事故無違反46年間の記録の現在である。

今日のお話の主旨は私の青春時代の体験のいくつかをお話し、後半最近の鉄の情勢のこと、これからの鉄鋼のことにふれられれば幸いであります。

まず鉄と共に振り返ってみると修行時代は昭和29年～31年の頃である。焼野原のある東京で涙をふき私なりに頑張った時代である。

東三条から東京へ7年間鈍行にゆられて東京へ着いたのは夕刻の明かりがつく上野駅であった。当時省線（現在のJR）と都電と称する電車がゴゴゴという音を発しながら、私を迎えてくれた。故郷をはなれた寂しさ、侘しさで、涙があふれたのを思い出している。

修行中の内容は飯炊き、仕事、株の整理、タバコの販売等であった。月2回の休みは親父の車をみがくことであった。ヒルマンという外車であった。私はここで教わったことは鉄の商いの発想は単純でも、努力の積み上げ方が人より秀れていれば辛酸をなめつくしながらも成長してゆく、やがて成功となる。私は昭和30年代はこのような商売をさせて頂いた。鉄に普通鋼（軟鋼）特殊鋼（ハ